

みなさんは、ペットと言えどどんな動物を思い浮かべますか。犬や猫を想像した人が多いと思います。では、日本での飼育数は、犬と猫、どちらが多いでしょうか？

一般社団法人ペットフード協会が毎年行っている「二〇一九年 全国犬猫飼育実態調査」によると、調査対象の約二十一パーセントの家庭で犬か猫を飼育しています。全国の推定飼育頭数は、犬が八七九万七千頭、猫が九七七万八千頭ということで、近年では犬の飼育数が減少傾向、猫が増加傾向にあります。猫を飼っている家庭の方が多くそうですね。

さて今回は、「ペットを飼うことを人に勧めるか」というテーマの話し合いを、二つの立場を比較して客観的に判断していきましょう。

目標 ①ふたつの意見を自分の考えと比較し、評価する。

②両者の意見を比較し、自分の考えをまとめる。

★★教科書三十五ページを開いてください★★

(一)話し合いの記録を読む前に、自分の考えを、理由を含めて書きましょう。

--	--

(二)後の、話し合いの記録を読み、北野さん、橋田さんの意見をそれぞれ「二文以内」でまとめましょう。また、教科書三十五ページの「評価メモ例」の右側、【評価】を参考に、それぞれの意見の良い点、悪い点、自分もった疑問点などを書きましょう。

橋田さん	北野さん	主張のまとめ (二文以内で)
		評価

★話し合いの記録★

司会 では、「ペットを飼うことを人に勧めるか」について、北野さん、橋田さん、「意見を聞かせください。」

北野 私は、ペットを飼うことを勧めます。私の家では、猫を三匹飼っています。私には家族同然の存在です。

また、小学生のとき、飼育委員を務めたことで、責任感を養うことができました。このように、動物の飼

育は人間によい影響を与えます。

橋田

私は、ペットを飼うことは勧めません。以前、町内で、犬のふんの放置など、マナーを守らない飼い主がいて、問題になったことがあります。「動物愛護に関する世論調査」によると、約五十六パーセントの人が犬のふんの放置などによる迷惑を訴えています。この他にも、放し飼いなど、ペット飼育は様々な問題を抱えています。このような状況を考えると、私は、安易にペットを飼うように勧めることはできません。

北野

橋田さんの言う通り、一部には、マナーの悪い飼い主がいることも事実ですが、ほとんどの飼い主は、マナーを守っています。

橋田

それは私もわかります。先ほど、北野さんは、動物の飼育は人間によい影響を与える、と言いましたが、具体的にどんなよい影響がありましたか？

北野

はい。私は、命の大切さを考えるようになりました。動物を飼うということは、面倒をみる責任があるということなんです。えさを与え忘れてしまえば、最悪の場合、ペットは死んでしまいます。また、いつも動物の様子を気にかけているので、日常生活でも、他人に対して、気配りができるようになったと思っています。私は、こうした自分の実体験から、よい影響を与えると考えました。

橋田

北野さんの実体験だということは分かりました。しかし、私の考えは違います。もし、北野さんの言うように、ペットが人間によい影響を与えるなら、飼い主は、みんな責任感をもち、きちんとペットを飼うはずなんです。つまり、ペットで迷惑を感じる人は、いなくなるはずなんです。にもかかわらず、多くの人がペットのマナーで迷惑を感じているのですから、ペットが人間によい影響を与えているとは、言い切れないと思います。

北野

私だけでなく、私の親友も、ペットを飼ってから、マナーに気を付けるようになったと言っています。だから私は、ペットは人間によい影響を与えてくれると、信じています。(終)

(三) 両者の意見を比較したうえで、改めて自分の意見を理由も含めて書きましょう。

あてはまるものに○をしましょう。

① 両者の意見を比較し、評価することができた

あ、できた い、まあまあできた う、あまりできなかった え、できなかった

② 両者の意見を踏まえ、理由を含めて自分の考えをもつことができた

あ、できた い、まあまあできた う、あまりできなかった え、できなかった

(四) おつかれさまでした。最後に、課題の感想や、意見を述べるとき注意したいことなどを書きましょう。